

伊藤よしのり議員 代表質問

私は、昨年の第三回定例会における地域活性化対策特別委員会において報告された、葛飾区ゆかりのトップアスリート支援事業について、助成額の増額や助成対象の拡大などをお願いさせていただきました。この事業は国内トップレベルで活躍する選手であり、かつ葛飾区出身や在住、あるいは葛飾区を活動拠点とするアスリートに対し、その活動費の一部を助成していこうとするもので、本区におけるスポーツ振興においても、大変意義のあるものだと思っています。そこで葛飾区ゆかりのトップアスリート支援事業の対象拡大や助成額の増額に対する考えをお伺いします。

一方、ぜひ見直しをしていただきたいのがあります。施設では、RUNについて、事業では、ふれあいRUNフェスタについてです。にいじゅくみらい公園運動場については、観覧に適した場所ではありません。プレーする人たちだけでなく、見る人、応援する人の環境を改善できるよう、観覧用ベンチなどを設置していただけないかと思ひます。教育委員会の考えをお伺いします。



ふれあいRUNフェスタは、いずれのコースも堀切水辺公園をスタートして荒川沿いの土手を走ります。何よりロードレースの醍醐味は、一般道を走ることだと思ひます。スポーツの魅力を伝えるためにも、公道での開催がより望ましいと思ひます。国や東京都としっかり協議を行い、準備すれば安全に開催する事が可能であると考えます。是非、公道での開催検討をお願いします。そこで、公道開催について、今後どのように進めていくのか、教育委員会の見解をお伺いします。

(教育長答弁)

助成金額の増額・対象者の範囲につきましては、区民のさらなるスポーツ振興に寄与事業になるよう、拡大の検討をして参りたいと思ひます。

現在、多目的広場には応援や見学をする方々のベンチがありません。今後は、東京理科大側のスペースに、見学者用のベンチを可能な範囲で設置して参ります。

マラソン大会ならではの盛り上がりを高めるためには、公道で実施することも方策の一つかと思ひます。実施できれば、まちの活性化にもつながり、また、本格的にマラソンに取り組みたいランナーにとって魅力ある大会となると思ひます。

警備などの安全性の確保や費用対効果の検証をはじめ、公道での実施実現に向け、専門家や経験者なども委員に加えた検討組織を立ち上げ検討を進めて参ります。

伊藤よしのり議員 代表質問

白ゆり公園は、平成21年3月に開園し、以来、地域の皆さまや子供たちなど多くの方々にご利用いただいております。

夏には盆踊りが行われ、皆さんの賑わいの場となり、また、隣接する幼稚園の運動会等でも利用され、子供たちのにぎやかな声がまちに響く、そういった地域にとってとても大切な場所となっていると思ひます。子供たちにとっても重要な場所であることから盆踊り会場、運動会会場としてもさらに利便性が向上することをしっかりと考慮し整備して頂きたいと思ひます。

地域の防災活動の拠点としても、地域の防災性の向上に向けた様々な整備が求められると思ひます。これに加え、利用面での課題解決や今後の新たな活用に向けた検討もしっかりと行う必要があると思ひます。こうしたことを踏まえ、区としては、今後、どのような整備方針で進めていくのか、伺ひます。

(区長答弁)

今回の拡張整備により、白ゆり公園は、水元地区の北部エリアにおいて初の防災活動拠点として整備されます。災害時や訓練時の利用に支障の無いよう広場スペースを十分に確保する必要があると考えています。この事によって、広場スペースがより多く確保できる事となり、これまで行っていた地域のお祭りや幼稚園の運動会などの利用においてもこれまで以上に使いやすくなるとともに、様々な形でご利用頂けるようになると考えております。

